

エコアクション21 環境活動レポート



実施期間 令和3年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日)
令和4年4月17日



環境経営方針

私たち日建建設株式会社は、数多くの建設事業をお客様の信頼とともに拡げてきました。社会の高齢化、都市の温暖化、環境の保全といった課題にも果敢に取り組み、長年築き上げてきた技術と実績を基盤として、さらに一步進んだ商品開発や質の高いサービスの提供を目指すと共に環境経営の継続的改善に努めます。

1. 当社の事業において環境への負荷を削減するために、以下の取組を行う。
 - (1) 車輛、重機、機械類のエコ運転に努め、燃料を削減し、二酸化炭素排出量を削減する。
 - (2) 事業所で使用する電気の省エネルギー化を推進し、二酸化炭素排出量を削減する。
 - (3) 全社員の節水に対する意識を高め、節水コマ等により水使用量を削減する。
 - (4) 建設廃棄物の発生を抑制し、リサイクルを推進することにより、産業廃棄物の最終処分量を削減する。
 - (5) 事務用品のグリーン購入を推進する。
2. 当社の事業に関連する環境関連法規等を遵守する。
3. 地域社会や建設現場における環境保全活動を積極的に実施して、地域の環境保全に貢献する。
4. 環境活動レポートを作成して公表することにより、環境コミュニケーションを推進する。

制定日 平成22年 9月 15日

改定日 平成31年 4月 1日

日建建設株式会社

1. 組織の概要

(1)事業所名 代表者氏名	日建建設株式会社 代表取締役 金子 幸生																																				
(2)所在地	(本社) 〒810-0044 福岡市中央区六本松三丁目16番33号 (資材倉庫) 〒819-0162 福岡市西区今宿青木字法導寺28番3号																																				
(3)環境管理責任者 担当者連絡先	営業部 山下 雄輔(担当者兼務) 連絡先 電話;092-731-2434 e-mail:yuusuke@nikken-co.jp																																				
(4)事業の内容	建築構造物、土木構造物の施工及び管理、宅地建物取引業 1) 特定建設業 福岡県知事許可(特-29)第22182号 建築工事業ほか 2) 一般建設業 福岡県知事許可(般-29)第22182号 土木工事業 3) 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-11017号 4) 宅地建物取引業 福岡県知事(6) 第13275号																																				
(5)事業の規模	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>単位</th> <th>平成30年度</th> <th>平成31年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事等の件数</td> <td>件</td> <td>115</td> <td>176</td> <td>202</td> <td>136</td> </tr> <tr> <td>従業員数</td> <td>人</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>万円</td> <td>145,900</td> <td>310,765</td> <td>327,215</td> <td>194,857</td> </tr> <tr> <td>事務所床面積</td> <td>m²</td> <td>移転前 307.4 移転後 281.38</td> <td>281.4</td> <td>281.4</td> <td>移転前 281.38 移転後 527.81</td> </tr> <tr> <td>倉庫床面積</td> <td>m²</td> <td>1,320</td> <td>1,320</td> <td>1,320</td> <td>1,320</td> </tr> </tbody> </table>	指標	単位	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	工事等の件数	件	115	176	202	136	従業員数	人	23	23	23	22	売上高	万円	145,900	310,765	327,215	194,857	事務所床面積	m ²	移転前 307.4 移転後 281.38	281.4	281.4	移転前 281.38 移転後 527.81	倉庫床面積	m ²	1,320	1,320	1,320	1,320
指標	単位	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度																																
工事等の件数	件	115	176	202	136																																
従業員数	人	23	23	23	22																																
売上高	万円	145,900	310,765	327,215	194,857																																
事務所床面積	m ²	移転前 307.4 移転後 281.38	281.4	281.4	移転前 281.38 移転後 527.81																																
倉庫床面積	m ²	1,320	1,320	1,320	1,320																																
(6)事業年度	4月～翌年3月																																				

建築事例



■ファースト西新レジデンス新築工事
福岡市早良区城西 2-6-7
施主 : 株式会社ファミリー
設計・監理 : 株式会社K Tプランニング
工期 : H. 30. 6. 1~R. 1. 5. 30
構造・階数 : RC造(地上6階)
用途 : 共同住宅 29戸
敷地面積 : 1,395.38㎡
建築面積 : 607.15㎡
延床面積 : 2,790.30㎡

■(仮称)TSUNABA 9 2 1新築工事
福岡市博多区綱場町 6-15
施主 : 村上ホールディングス株式会社
設計・監理 : 株式会社マツダグミ
工期 : R. 1. 11. 1~R. 3. 4. 1
構造・階数 : RC造(地上11階)
用途 : オフィスビル
敷地面積 : 613.13㎡
建築面積 : 312.27㎡
延床面積 : 2,977.24㎡





■（仮称）白水ビル新築工事
 福岡市博多区博多駅前 4-20-17
 施主 : 株式会社白水ビル
 設計・監理 : 株式会社傳設計
 工期 : R. 1. 10. 15~R. 3. 3. 31
 構造・階数 : S造（地上 11 階）
 用途 : 貸事務所・共同住宅 20 戸
 敷地面積 : 565.36 m²
 建築面積 : 455.87 m²
 延床面積 : 3,420.69 m²

■平成 29 年度公営住宅（下山門住宅その 2 地区）
 新築工事
 福岡市西区下山門団地
 施主 : 福岡市長
 設計・監理 : 福岡市住宅都市局住宅建設課
 工期 : H. 30. 2. 23~R. 1. 9. 15
 構造・階数 : RC 造（地上 10 階）
 用途 : 市営住宅
 敷地面積 : 4,929.27 m²
 建築面積 : 459.26 m²
 延床面積 : 3,665.19 m²



■荒江保育園増築工事
 福岡市城南区別府 3-2-18
 施主 : 社会福祉法人竹生会
 設計・監理 : 有限会社ズーク
 工期 : H. 28. 12. 20~H. 30. 3. 25
 構造・階数 : RC 造（地上 3 階）
 用途 : 認可保育園
 敷地面積 : 1,848.81 m²
 建築面積 : 622.26 m²
 延床面積 : 1,630.73 m²

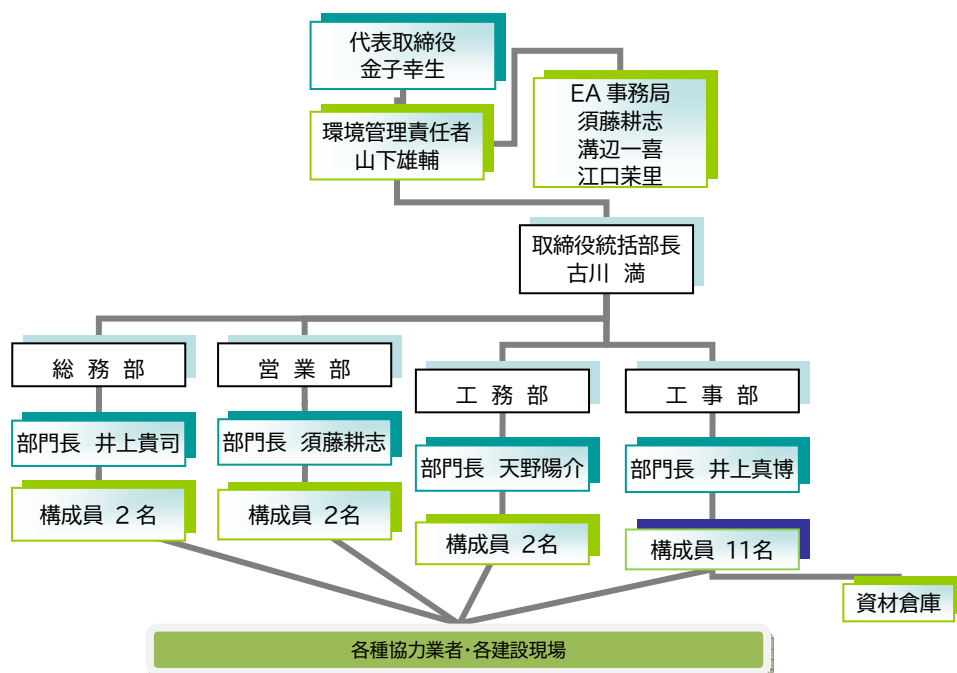
2. 認証・登録の対象範囲・活動範囲

・全組織

・事業活動 建築工事業、土木工事業、

一級建築士事務所、宅地建物取引業

3. 実施体制



4. 環境経営目標

	環境目標	単位	基準値	令和3年度	次年度目標 (令和4年度)	中期目標 (令和5年度)
1	施工現場の二酸化炭素の排出量の削減(売上高百万円当たり)	kg-CO ₂ /百万円 (基準年比)	12.839 (H27~H30年度実績の平均)	12.685 以下 (-1.2%)	12.634 以下 (-1.6%)	12.582 以下 (-2.0%)
2	施工現場水使用量の削減 (売上高百万円当たり)	m ³ /百万円 (基準年比)	1.263 (H27~H30年度実績の平均)	1.248 以下 (-1.2%)	1.243 以下 (-1.6%)	1.238 以下 (-2.0%)
3	産業廃棄物のリサイクル率の向上 (リサイクル率 85%以上を維持する)	%	85.0	85.0 以上	85.0 以上	85.0 以上
4	本社の二酸化炭素の排出量の削減 ※本社電力+車輛の燃料 (平成 29 年度実績を維持する)	kg-CO ₂	41,818 (H29 年度実績)	41,818 以下	41,818 以下	41,818 以下
5	本社の廃棄物排出量の削減 (事業所一般廃棄物)	---	排出量の削減に努める			
6	グリーン購入(事業所) ファイル、ボールペン、のり、修正テープのグリーン購入率 90%以上	% (グリーン購入率)	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
7	建設工事における周辺環境配慮		近隣住民の生活に配慮した取り組みを実施する			

二酸化炭素排出量削減において、購入電力の排出係数は、0.347kg-CO₂/kWh(平成 30 度九州電力)を使用しました。



5. 環境経営計画

(1) 施工現場の二酸化炭素の排出量の削減(売上高百万円当たり)

取組目標	取組目標責任者	活動項目	活動項目担当者	スケジュール			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1 電気使用量削減(施工現場)	古川	1 間引き照明の実施, LED照明の採用	作業所長	←	→	←	→
		2 使用頻度の低い箇所の照明OFF		←	→	←	→
		3 パソコン、コピー機の不使用時電源OFF		←	→	←	→
2 重機・機械類の環境配慮(協力会社へ依頼)	古川	1 エコドライブの励行	作業所長	←	→	←	→
		2 ハイブリッド車の積極導入		←	→	←	→

(2) 施工現場水使用量の削減(売上高百万円当たり)

取組目標	取組目標責任者	活動項目	活動項目担当者	スケジュール			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
現場事務所での節水	古川	1 節水活動の推進	作業所長	←	→	←	→
施工現場での節水	古川	2 協力会社への依頼	作業所長	←	→	←	→

(3) 産業廃棄物のリサイクル率の向上(リサイクル率 85%以上を維持する)

取組目標	取組目標責任者	活動項目	活動項目担当者	スケジュール			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
リサイクル率85.0%を維持する	古川	1 現場での産業廃棄物の発生抑制に努める	中山	←	→	←	→
		2 現場代理人は産業廃棄物管理票の管理を確実に、責任者に報告する		←	→	←	→
		3 産廃業者に、産業廃棄物の適正処理及びリサイクルについて確認する		←	→	←	→

(4) 本社の二酸化炭素の排出量の削減※本社電力+車輛の燃料(平成29年度実績を維持する)

取組目標	取組目標責任者	活動項目	活動項目担当者	スケジュール			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1 電気使用量削減(平成29年度実績を維持する)	須藤	1 パソコンとコピー機の節電機能を活用する	江口	←	→	←	→
		2 エアコン設定温度を適正に設定する	井上貴	←	→	←	→
		3 エアコンフィルターの清掃	松ケ下	←	→	←	→
		4 昼休みの消灯運動、無駄な照明の消灯	稲尾	←	→	←	→
2 ガソリン使用量前年度削減(平成29年度実績を維持する)	須藤	1 車の空調温度を適正に設定する	山下	←	→	←	→
		2 社用車の効率的な使用を徹底する	山下	←	→	←	→

(5) 本社の廃棄物排出量の削減(事業所一般廃棄物)

取組目標	取組目標責任者	活動項目	活動項目担当者	スケジュール			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1 可燃ごみ、不燃ごみ、紙の排出量の削減	井上	1 会議などの開催案内はメールとする	稲尾	←	→	←	→
		2 事業報告書等は適正部数印刷する	井上貴	←	→	←	→
		3 パソコン機器類の使用方法に関する教育の実施	江口	←	→	←	→
		4 分別の徹底	井上貴	←	→	←	→

(6) グリーン購入(事業所)ファイル、ボールペン、のり、修正テープのグリーン購入率 90%以上

取組目標	取組目標責任者	活動項目	活動項目担当者	スケジュール			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1 ファイル、ボールペン、のり、修正テープのグリーン購入率90%	江口	1 社内で使用する事務用品・OA機器などはグリーン製品から選択する	江口	←	→	←	→
2 周辺環境に配慮した行動の促進	〃	2 毎週金曜日に会社周辺の歩道を清掃する	井上貴	←	→	←	→

(7) 建設工事における周辺環境配慮(近隣住民の生活に配慮した取り組みを実施する)

取組目標	取組目標責任者	活動項目	活動項目担当者	スケジュール			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1 低騒音、超低騒音重機を推奨する	井上	1 契約する際に、費用や品質に差がなければ、超低騒音重機など選ぶように心がける。	松尾	←	→	←	→
2 毎月歩行者の目にとまる所に、掲示物を貼る	〃	2 フラワーポット又は季節柄のポスターを貼る	井上	←	→	←	→

6. 環境経営目標の評価

	環境目標	単位	令和3年度目標	令和3年度実績	達成状況
1	施工現場の二酸化炭素の排出量の削減(売上高百万円当たり)	kg-CO ₂ /百万円	12,685 以下	6.78	○
2	施工現場水使用量の削減(売上高百万円当たり)	m ³ /百万円	1,248 以下	0.55	○
3	産業廃棄物のリサイクル率の向上(リサイクル率 85%以上を維持する)	%	85.0 以上	98.78	○
4	本社の二酸化炭素の排出量の削減 ※本社電力+車輛の燃料 (平成 29 年度実績を維持する)	kg-CO ₂	41,818 以下	41,183	○
5	本社の廃棄物排出量の削減 (事業所一般廃棄物)	t	排出量の削減に努める	1,555	○
6	グリーン購入(事業所) ファイル、ボールペン、のり、修正テープのグリーン購入率 90%以上	% (グリーン購入率)	90%以上	97.8	○
7	建設工事における周辺環境配慮	---	近隣住民の生活に配慮した取り組みを実施する	実施できた	○
項目評価		<p>前回指摘を受けた産業廃棄物のリサイクル率の値は、大幅に改善された。 一方、本社の廃棄物排出量は、本社移転なども原因となり、前年より増加した。</p>			

※売上高の算出は、電力および水の使用があった現場のみを対象としています。

①施工現場の二酸化炭素の排出量計算対象売上高 … 1,699 百万円

②施工現場の水使用量計算対象売上高 … 1,699 百万円

7. 環境経営計画の取組結果と評価

(1) 施工現場の二酸化炭素の排出量の削減(売上高百万円当たり)

目標	活動項目	実施状況	評価
電気使用量削減 (施工現場)	間引き照明の実施, LED 照明の採用 使用頻度の低い箇所の照明 OFF パソコン、コピー機の不使用時電源 OFF	○ ○ ○	意識的に取り組んだ 消灯が徹底されている 実施できている
協力会社への依頼	エコドライブの励行 ハイブリッド車の積極導入	○ ○	実施できている 契約時に協力業者へ依頼
項目評価	現在はほとんどの現場が LED 照明を採用することが出来ている。 また、協力会社も徐々にハイブリッド車を導入しており、使用率が上がった。		

(2) 施工現場水使用量の削減(売上高百万円当たり)

目標	活動項目	実施状況	評価
現場事務所での節水	節水活動の推進	○	継続して実施している
施工現場での節水	協力会社へ依頼	○	継続して実施している
項目評価	かなり良いスコアで目標を達成できた。 この調子が継続できるように社内教育を定期的に行っていく。		

(3) 産業廃棄物のリサイクル率の向上(リサイクル率 85%以上を維持する)

目標	活動項目	実施状況	評価
リサイクル率の向上	現場での産業廃棄物の発生抑制に努める 現場代理人は産業廃棄物管理票の管理を 確実に行い、責任者に報告する 産廃業者に、産業廃棄物の適正処理及び リサイクルについて確認する	○ ○ ○	本年度は目標達成 諸官庁に報告済 処理施設確認済
項目評価	前年度達成出来なかったリサイクル率が、本年度は前回の反省を活かし、無事に達成することが出来た。この調子で来年度以降も継続推進して数値を達成していきたい。		

(4) 本社の二酸化炭素の排出量の削減※本社電力+車輛の燃料(平成 29 年度実績を維持する)

目標	活動項目	実施状況	評価
電気使用量削減 (事業所)	パソコンとコピー機の節電機能を活用する エアコン設定温度を適正に設定する エアコンフィルターの清掃 昼休みの消灯運動、無駄な照明の消灯	○ △ △ ○	徹底して実施している 設定温度を守れない時もあった 年末大掃除にて実施 実行できている
ガソリン使用量の削減	車の空調温度を適正に設定する 社用車の効率的な使用を徹底する	○ ○	社内掲示物周知 運転経路の見直しをした
項目評価	今年度はかなりギリギリの数値で目標達成となった。原因としては夏場がかなりの暑さとなり、エアコンの設定温度が守れなかったことなどが考えられる。次回までに対策を考える。		

(5) 本社の廃棄物排出量の削減(事業所一般廃棄物)

目標	活動項目	実施状況	評価
可燃ごみ、不燃ごみの排出量の削減	会議などの開催案内はメールです 事業報告書等は適正部数印刷する パソコン機器類の使用方法に関する教育の実施 分別の徹底	○ ○ ○ ○	メールにて一斉配布を行っている 必要な分だけ印刷出来ている 少しずつ知識がついてきている 細かい所まで分別出来ている
項目評価	社内会議のアナウンスなどメールで案内を送ることは習慣化されてきている。 パソコン機器類の知識については、少しずつだが全体的に向上している。 ゴミの分別は、ほぼ完璧に出来ている。		

(6) グリーン購入(事業所)ファイル、ボールペン、のり、修正テープのグリーン購入率 90%以上

目標	活動項目	実施状況	評価
グリーン購入(事業所) ファイル、ボールペン、のり、 修正テープのグリーン購入率 90%以上	社内で使用する事務用品・OA 機器などは グリーン製品から選択する 毎週金曜日に会社周辺の歩道を清掃する	○ ○	ほぼ実施できた 実施した
項目評価	社内で使用する事務用品は、グリーン製品の中から選ぶことが習慣化されている。 また毎週金曜日には、会社付近の歩道を数人体制で清掃できた。		

(7) 建設工事における周辺環境配慮

目標	活動項目	実施状況	評価
低騒音、超低騒音重機を 推奨する	契約する際に、費用や品質に差がなければ、 超低騒音重機など選ぶように心がける。	○	継続して実施している
歩行者の目にとまる所に、 毎月掲示物を貼る	フラワーポット又は季節柄のポスターを貼る。	○	担当を決め、実施
項目評価	本年度から新しく取り組むことになった項目であったが、十分に目標達成できたといえる結果であった。来年度以降も継続推進して、周辺住民の理解を得ていきたいと考える。		

掲示物の季節柄のポスター



8. 次年度の環境経営計画

(1) 施工現場の二酸化炭素の排出量の削減(売上高百万円当たり)

取組目標	取組目標責任者	活動項目	活動項目担当者	スケジュール			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1 電気使用量削減(施工現場)	古川	1 間引き照明の実施, LED照明の採用	作業所長	←	→	←	→
		2 使用頻度の低い箇所の照明OFF		←			→
		3 パソコン、コピー機の不使用時電源OFF		←			→
2 重機・機械類の環境配慮(協力会社へ依頼)	古川	1 エコドライブの励行	作業所長	←			→
		2 ハイブリッド車の積極導入		←			→

(2) 施工現場水使用量の削減(売上高百万円当たり)

取組目標	取組目標責任者	活動項目	活動項目担当者	スケジュール			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
現場事務所での節水	古川	1 節水活動の推進	作業所長	←			→
施工現場での節水	古川	2 協力会社への依頼	作業所長	←			→

(3) 産業廃棄物のリサイクル率の向上(リサイクル率85%以上を維持する)

取組目標	取組目標責任者	活動項目	活動項目担当者	スケジュール			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1 リサイクル率85.0%を維持する	古川	1 現場での産業廃棄物の発生抑制に努める	中山	←			→
		2 現場代理人は産業廃棄物管理票の管理を確実にを行い、責任者に報告する		←			→
		3 産廃業者に、産業廃棄物の適正処理及びリサイクルについて確認する		←			→

(4) 本社の二酸化炭素の排出量の削減※本社電力+車輛の燃料(平成29年度実績を維持する)

取組目標	取組目標責任者	活動項目	活動項目担当者	スケジュール			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1 電気使用量削減(平成29年度実績を維持する)	須藤	1 パソコンとコピー機の節電機能を活用する	江口	←			→
		2 エアコン設定温度を適正に設定する	井上貴	←	→	←	→
		3 エアコンフィルターの清掃	松ヶ下	←		→	
		4 昼休みの消灯運動、無駄な照明の消灯	稲尾	←			→
2 ガソリン使用量前年度削減(平成29年度実績を維持する)	須藤	1 車の空調温度を適正に設定する	山下	←			→
		2 社用車の効率的な使用を徹底する	山下	←			→

(5) 本社の廃棄物排出量の削減(事業所一般廃棄物)

取組目標	取組目標責任者	活動項目	活動項目担当者	スケジュール			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1 可燃ごみ、不燃ごみ、紙の排出量の削減	井上	1 会議などの開催案内はメールとする	稲尾	←			→
		2 事業報告書等は適正部数印刷する	井上貴	←			→
		3 パソコン機器類の使用方法に関する教育の実施	江口	←			→
		4 分別の徹底	井上貴	←			→

(6) グリーン購入(事業所)ファイル、ボールペン、のり、修正テープのグリーン購入率90%以上

取組目標	取組目標責任者	活動項目	活動項目担当者	スケジュール			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1 ファイル、ボールペン、のり、修正テープのグリーン購入率90%	江口	1 社内で使用する事務用品・OA機器などはグリーン製品から選択する	江口	←			→
2 周辺環境に配慮した行動の促進	〃	2 毎週金曜日に会社周辺の歩道を清掃する	井上貴	←			→

(7) 建設工事における周辺環境配慮(近隣住民の生活に配慮した取り組みを実施する)

取組目標	取組目標責任者	活動項目	活動項目担当者	スケジュール			
				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1 ファイル、ボールペン、のり、修正テープのグリーン購入率90%	江口	1 社内で使用する事務用品・OA機器などはグリーン製品から選択する	江口	←			→
2 周辺環境に配慮した行動の促進	〃	2 毎週金曜日に会社周辺の歩道を清掃する	井上貴	←			→

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりです。

適用される法規制等	適用される事項(施設・物質・活動等)
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物、産業廃棄物(汚泥、木くず等)
建設リサイクル法	対象工事の届出、解体工事業の登録・更新
騒音規制法	くい打ち機

上記の環境関連法規の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。
また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

新型コロナウイルスという脅威があり業務体制の変化、換気実施により電力量が増加し目標達成は出来たもののかなりギリギリの数値になってしまった。しかし一方、前年度唯一達成出来ていなかった産業廃棄物のリサイクル率の向上の項目に関しては、前年度に指摘された集計方法を見直すなど改善を行い、かなり良い数字で目標を達成することが出来たので、このまま継続推進していく。

また令和3年9月より新社屋にて営業スタートした。初心に戻り新社屋での取組み徹底すると共に、新たな取組みの必要がないか無駄な取組みはしていないかを次年度までに再確認しつつ、目標達成に向けて次年度も更に、社員一丸となって取り組んでいく。

以上